



橋梁諸元(現在)

路線: 国道1号
 所在地: 静岡市清水区由比北田
 橋種: 単純PCポストテンション方式T桁橋
 橋長: 30m(1径間)
 幅員: 7.4m(上り線), 8.0m(下り線)
 竣工: 1971年(上り線は43年経過), 1978年(下り線は36年経過)
 交通量: 52,201台/日 大型車混入率31.5%(H22センサス)



工事概要

連結したT桁のうち最も海側の桁では径間中央部付近に多くのひび割れを確認しており、安心して安全に道路を通行していただくため、和瀬川橋の架け替えを行うことにしました。

和瀬川橋(現在)の損傷状況
 海が近く塩害により桁のコンクリートにひび割れや剥離が生じています。(写真は損傷の進行を抑えるための表面被覆補修前の状況)

【新橋での対策①】 錆びにくい材料の採用
 新しい橋では、錆びに強いエポキシ樹脂が塗装された鉄筋とPC鋼より線を採用します。これにより、コンクリート内部に浸入してくる塩分から鉄筋を守ります。

拡大

エポキシ樹脂塗装鉄筋の採用例

【新橋での対策②】 鉄筋かぶりを厚くする対応
 新しい橋では、鉄筋のコンクリート表面からの位置(鉄筋のかぶり)を、標準的なものよりも内側に配置することで、外部から浸入する塩分が到達する時間を遅らせます。

拡大図

鉄筋

鉄筋かぶり

塩分

新しい主桁の形状

鉄筋かぶりを厚く確保

【新橋での対策③】 表面積を減らす
 新しい橋では、外気にふれる表面積を小さくすることで、塩害リスクの低減を図ります。

これまではT桁を採用していたため表面積(赤線)が大きかった

T桁橋断面図

架け替え後の新橋では箱桁を採用するため、表面積が小さくなる

箱桁橋断面図

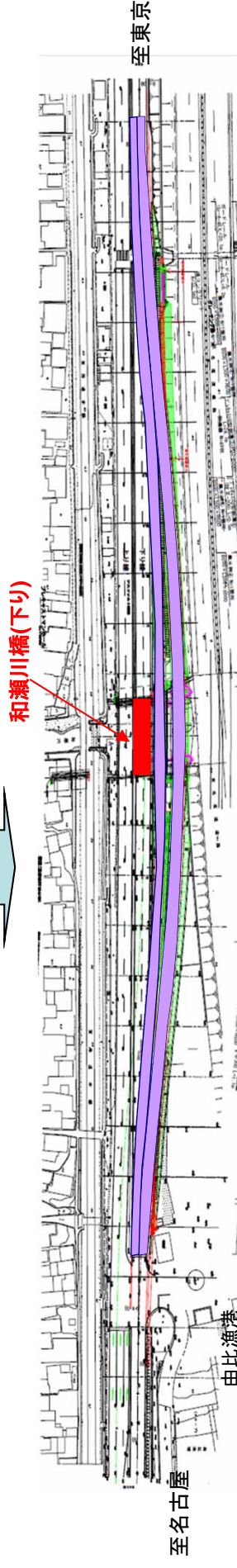
和瀬川橋架け替え計画 静岡国道事務所

別紙②



○現状

和瀬川橋下り線の架け替えを行うために、車線を海側に切り廻すための工事を行っています。



○和瀬川橋の下り線架け替え工事中のイメージ

下り線は、現在の和瀬川橋下り線と東名高速道路の間のスペースを利用し、2車線が切り廻されます。下り線の架け替えが終了次第、上り線の架け替えを行います。上り線の架け替えに際しても通行形態が変わりますので、時期が近づきましたら、またお知らせします。